

事務事業名		市道平田上山線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	道路改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(12)道路の整備		担当者名	石原 裕太	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2472
	目的:対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		予算科目	会計 014003 大事業 大事業名 市道道路整備事業 中事業 中事業名 起債道路整備事業
	目的:対象	道路利用者	意図	安全で便利に移動できる。		項目	101503 中事業 中事業名 起債道路整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(H27 年度 ~ R2 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
本事業は、H23に実施した橋梁点検において早急に改修が必要であると判定された小原橋の架け替え及び取付道路の新設を行う。 延長 265m 幅員 5m(既設3.6m)	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動) (H30年度繰越) ・小原橋下部工(右岸側)工事 ・小原橋上部工工事 ・小原橋床版工工事 (R元年度) ・道路改良工事 ・小原橋床版工(その2)工事 ・支障移転補償	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動) (R元年度繰越) ・小原橋床版工(その2)工事 ・道路改良(その2)工事 ・舗装工事 ・支障移転補償 (R2年度) ・旧橋撤去工事 ・水道補償				
② 活動指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	整備延長	m	0	0	265	265
イ	供用延長(累計)	m	0	0	0	265
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	市道及び市道利用者		ア	整備計画延長	m	265	265	265	265
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。		ア	整備率(供用延長/整備計画延長)	%	0.0	0.0	0.0	100.0

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)		② コストの推移		単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
合併特別債 【H30年度繰越】 工事費 137,793千円 事務費 879千円 計 138,672千円 【R元年度】 工事費 46,309千円 補償費 2,298千円 事務費 2,204千円 計 50,811千円		財源内訳	国庫支出金	千円				
		事業費	県支出金	千円				
			地方債	千円	58,300	155,300	173,900	187,200
		人件費	その他	千円			6,421	1,654
			一般財源	千円	3,136	8,186	9,162	9,802
		事業費計(A)		千円	61,436	163,486	189,483	198,656
		正規職員従事人数	人	2	2	2		
		延べ業務時間	時間	200	200	400		
		人件費計(B)	千円	815	866	1,696		
		トータルコスト(A)+(B)		千円	62,251	164,352	191,179	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
物価・人件費の上昇や消費税増税により、事業費が増加傾向にある。 東京オリンピック関連や大規模災害復興による需要増加で、鋼材の調達が困難な状況にある。	設計時に線形や工法検討によるコスト削減を図り事業費の抑制に努めた。 河川内工事で工期の制約があるなか複数工事のスムーズな進捗を図るため、発注者主導で定期的に工程調整会議を実施している	現在の橋梁の老朽化が進んでおり、橋梁の架け替えを含めた早期全線完了が望まれている。

事務事業名	市道平田上山線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	交通量や受益状況から道路規格を決定しているため、向上の余地は無い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	狭隘な生活路線を整備することにより交通の円滑化や安全性の向上に寄与することから、事業中止による住民生活への影響は大きい。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		各事業の整備目的が異なるため統廃合は難しい。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		道路の規格・構造は一定の基準に基づいて設計しており、工法についても比較検討のうえ採用している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		設計測量については業務委託をしているが、用地買収や工事費積算は守秘義務があり困難である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		目標の達成には整備計画に基づき着実に事業進捗を図る必要がある。
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
事業効果の発現には予算措置が必要となるが、市財政の圧迫に直結することから、道路整備計画に基づいた取り組みが重要となる。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			